

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

高山市公共交通活性化協議会

平成21年3月13日設置

フィーダー系統 平成28年6月27日 確保維持計画策定
平成28年9月23日 確保維持計画変更

■ 高山市の特性・背景

- ・ 市町村合併により日本一広大な市域となり、市民の多くは利便性の高い自家用車に依存。
- ・ 全国平均以上に高齢化・人口減少が進み、高齢者等の移動制約者は増加。
- ・ 年間430万人以上の観光客が訪れ、特に外国人観光客が増加傾向。

■ 公共交通の目指す姿

- ・ 最低限の「生活環境の質（QOL）」の確保を将来にわたり保証する。
- ・ 交通事業者、市民、行政の協働による、持続可能な地域公共交通を整備する。

■ 計画期間

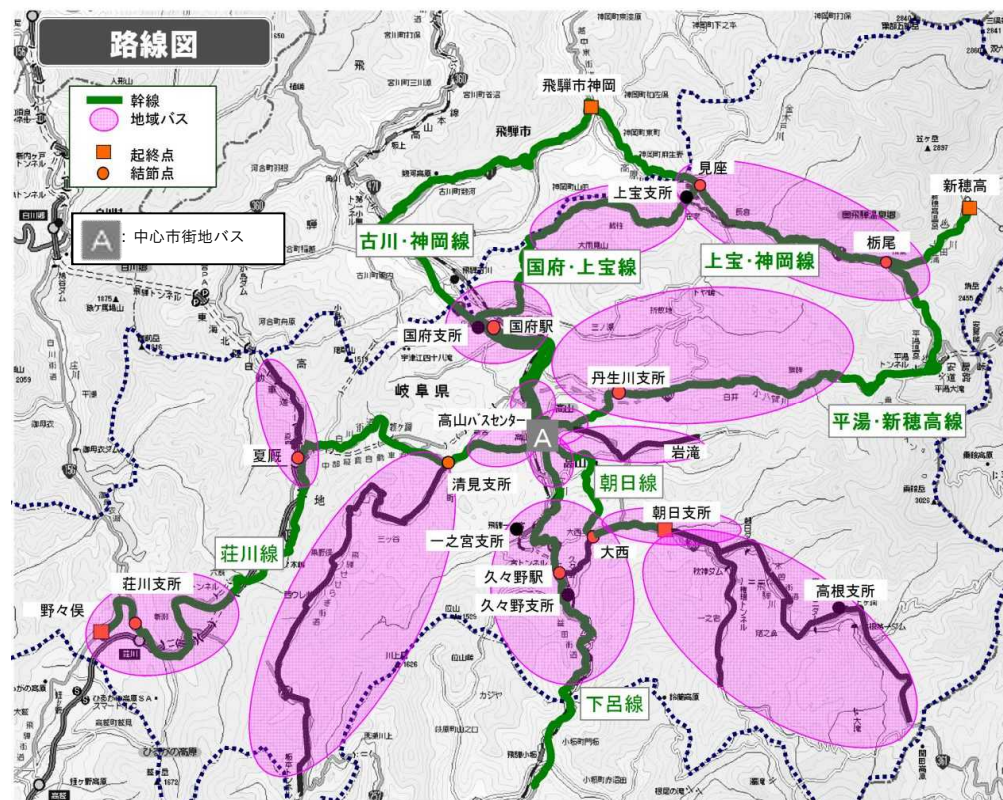
- ・ 平成27年度～31年度（5年間）

■ 計画の目標

- ・ 地域バスは利用促進策により現状維持。
- ・ 観光客や移動制約者の増加を見込む。
年間利用者数162万人(平成25年度)
⇒ 169万人(平成31年度)

■ 公共交通見直しの方向性

- ・ 地域特性に即した少量輸送体制の確立
- ・ 中心市街地における利便性の高い
2次交通の整備



■ 公共交通網評価の基本的考え方

- ・ 幹線バス、まちなみバス（中心市街地バス）、のらマイカー（地域バス）、タクシー及び自家用有償運送それぞれについて目標値を設定。
- ・ 網計画期間は5年間だが、高山市第八次総合計画は10年間の目標設定となっているため、10年後の目標値に合わせて設定する。
- ・ 高山市・交通事業者・関係団体等との連携・役割分担により、多種多様な利用促進・啓発事業に取り組む。また、高山市公共交通活性化協議会において進行管理し、評価・検証・改善を行う。
- ・ 評価・検証の結果に基づく公共交通体系の見直しは、住民・地域参加により継続的に進める。

■ 評価指標及び評価基準

指 標 名		現 状 値	中間目標	目 標
		平成25年度	平成31年度	平成36年度
幹線バス	年間利用者数	64.3万人	67.2万人	69.5万人
まちなみバス（中心市街地バス）	年間利用者数	3.8万人	4.3万人	5.0万人
	平均利用者数（1便あたり）	5.3人	6.0人	7.0人
のらマイカー（地域バス）	年間利用者数	13.5万人	13.5万人	13.5万人
	平均利用者数（1便あたり）	4.0人	5.0人	5.0人
タクシー及び自家用有償運送	年間利用者数	80.3万人	84.0万人	87.0万人
合 計	年間利用者数	162万人	169万人	175万人

1) 網形成計画の主な事業

- タクシーなどを活用した地域公共交通の空白地帯における「移動行動」支援施策の検討
- 地域公共交通の空白を補完する地域独自の取り組みに対する支援
- 公共交通サービスに関する情報提供の充実（時刻表作成、配布、乗換え検索サービスの利用開始）
- まちなみバスのバスガイドによる案内の実施
- 子どもを対象にした公共交通利用促進啓発事業の実施

2) 実績

- デマンドタクシーの導入（H25.4～）
- 公共交通空白地有償運送（たかね号）の運行開始（H29.4～）
- 免許証自主返納者専用回数券の交付（H29.4～）
- 時刻表配布（エリア版、地域版、中心市街地版、高校生版）
- 乗換え検索サービスの情報提供開始
（駅すぱあと、ナビタイム、ジョルダン）
- のりものフェスタの開催
- まちなみバスにバスガイド乗車
- 警察署、バス事業者によるバスの乗り方教室の開催
- 飲食店の掲載サイト（ヒトサラ）とバス事業者の
コラボ企画を実施



公共交通空白地有償運送の導入



まちなみバスにバスガイド乗車

1. 自己評価にかかる協議会等の開催

- 第3回高山市公共交通活性化協議会：平成29年12月25日 13：30～
- 荘川地区連合町内会月例会議：毎月25日に利用状況を説明し、利用啓発を実施
- 久々野地域総会にて利用状況の説明、利用啓発を実施（4月）

2. 目標値：

利用者数	H27.10～ H28.9	H28.10～ H29.9	前年比	接続幹線	フィー ダー補助	目標	達成状況
まちなみバス (中心市街地バス)	37,129人	37,487人	358人	古川・ 神岡線	有	前年度より 増加させる	達成
のらマイカー (高山地域)	87,938人	87,400人	▲538人	古川・ 神岡線	有	維持させる	未達成
のらマイカー (丹生川地域)	5,007人	4,156人	▲851人	平湯・新 穂高線	無	—	—
のらマイカー (清見地域)	10,529人	10,048人	▲481人	荘川線	有	維持させる	未達成
のらマイカー (荘川地域)	5,096人	3,868人	▲1,228人	荘川線	有	維持させる	未達成
のらマイカー (一之宮地域)	571人	609人	38人	下呂線	無	—	—
のらマイカー (久々野地域)	6,040人	5,376人	▲664人	下呂線	無	—	—

利用者数	H27.10～ H28.9	H28.10～ H29.9	前年比	接続幹線	フィー ダー補 助	目標	達成状況
のらマイカー （朝日地域）	173人	184人	11人	朝日線	無	—	—
たかね号 （高根地域）	3,088人	3,306人	218人	無	無	—	—
のらマイカー （国府地域）	4,205人	4,618人	413人	古川・神岡 線	無	—	—
のらマイカー （上宝地域）	1,566人	1,667人	101人	平湯・新穂 高線	有	維持させる	達成
計	161,342人	158,719人	▲2,623人			—	—

3. 考察

- まちなみバスは増加、地域バスについては一之宮、朝日、高根、国府、上宝が増加したが、高山、丹生川、清見、荘川、久々野が減少となっており、全体合計では減少している。
- 各路線の利用状況や市民の声等を踏まえ、一部バス停をデマンド化したほか、高根地域において、地域が実施主体となる公共交通空白地有償運送「たかね号」への移行を行っている。
- 地域によっては、地域主体の有償運送やデマンドタクシー化の検討を行っているが、地理的・人的条件やコスト面で折り合わず、見直すことが難しい路線がある。
- 警察、交通安全協会、市による免許証自主返納の啓発を行いながら、市では免許返納者に対する回数券の交付を実施したことにより、専用回数券での乗車は増加しつつある。

(課題)

- 利用実態を勘案し、地域に合った地域主体の有償運送やデマンドタクシー化にできないか検討を行っているが、地理的条件や人的条件、コスト面で折り合わず、見直すことが難しい路線がある。
- バス事業者において、一部路線で貨客混載を検討したが、配送事業者から効率化につながらないとして実施できず、導入可能な路線の選定に苦慮している。
- たかね号の運行開始により、地域で独自に公共交通空白地有償運送を実施したいとの相談があるが、バス・タクシーとの競合となったり、公共交通空白地と認められない条件が重なり導入が難しく、地域の要求にどこまで応えられるか試行錯誤を繰り返している。

(対応方針)

- 高齢化の進展により、地域内での少量輸送や、便数を高頻度にしてもらいたい、乗降場所を近くにしたいなどの要望が高まっているが、条件が折り合わず見直しができない地域においても、運輸局の指導を仰ぎながら引き続き地域に合った交通体系に見直すよう検討を進めていく。
- 免許証の自主返納の促進を行い、高齢者の利用を増加させるよう、長寿会ははじめ各種団体においてバスの乗り方教室を実施するなど利用促進を図る。
- 地域住民に対して地域路線の利用状況についての報告を実施。公共交通の利用に対して当事者意識を持ってもらい、地域全体で守り育てる意識を持ってもらう。

運転免許証の自主返納者を支援します！

自主運行バス等で利用可能な専用回数券(24枚綴)を交付！！

高山市では、運転免許の自主返納の促進、公共交通の利用促進のため、平成29年4月1日以降に運転免許証を自主返納した市民を対象に、自主運行バス等で利用可能な専用回数券を交付します。(高山市運転免許自主返納者支援事業)

専用回数券の交付	
対象者	高山市民(平成29年4月1日以降に運転免許証を自主返納し、警察署または運転者講習センターで運転経歴証明書の交付を受けた方)
交付内容	専用の回数券(100円券24枚綴り)を交付
交付窓口	高山市役所3 駅前市整備課及び各支所窓口 (運転免許の取消通知書(原本)及び運転経歴証明書を提示)
交付期間	運転免許証の自主返納日から1年以内
利用対象	のちマイカー(デマンドタクシーを含む)、まちなかみバス、タクシー及びたかね号(市民バス)の乗客として乗車する公共交通空白地有償運送
利用方法	運転経歴証明書と運転手へ提示し回数券を使用 (1乗車1枚利用可)
開始日	平成29年4月1日

※手続きの流れは裏面参照
<お問合せ先>高山市都市整備課 ☎0577-35-3176

その他の促進措置

運行事業等により、下記のとおり運転免許自主返納者を対象とした優待措置があります。
※バス、タクシーとも、警察署・運転者講習センターで発行する「運転経歴証明書」の提示によりご利用いただけます。

バス ○運賃 片道運賃を半額
○対象路線 濃飛バス全路線
(一部の高速バス・特急バス全線及び1高池線・乗鞍線など他社との共同運行路線を除く)
<お問合せ先>濃飛バス ☎0577-32-1888

タクシー ○運賃 乗車料金を1割引き(85歳以上、迎車料金は除く)
(対象となるタクシーやその他の高齢者対象とした割引制は別の要領は下記まで)
<お問合せ先>岐阜県タクシー協会岐阜支部 ☎0577-32-2323

運転経歴証明書の交付 運転経歴証明書交付手数料 1,000円(金融機関)
<お問合せ先>運転者講習センター ☎0577-33-3430

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

高山市公共交通活性化協議会

平成21年3月13日設置

フィーダー系統 平成28年6月27日 確保維持計画策定
平成28年9月23日 確保維持計画変更

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>中部様式に網形成計画で作成した表をそのまま添付せずに、重点的に実施した施策事業を抽出し記載してほしい。本省様式との整合も図られていない。</p>	<p>重点的に実施した内容を抽出し記載しました。</p>	<p>引き続き記載の仕方に留意しながら、評価を行います。</p>
<p>本省様式の達成状況でABCの各ランクがつけられているが、対応に関する記述がいずれも同じということはどういうことか。</p>	<p>路線や地域特性をふまえ、それぞれの地域で実施した対応について記載しました。</p>	<p>引き続き記載の仕方に留意しながら、評価を行います。</p>
<p>評価結果を書く地域に落として検討していないため、このような結果になっている。各地域で検討すれば、自分の地域がなぜCランクなのか考えるのではないか。</p>	<p>地域において、利用状況などを報告する機会を設け、地域における公共交通の意識を高めてもらうようにしました。</p>	<p>特に利用の少ない地域では、公共交通空白地有償運送やデマンドタクシーに移行を検討し、引き続き毎月の地域の集まりの際に利用状況を報告し、利用啓発を行います。</p>
<p>市域が広いため、モデル地区での検討というやり方もある。努力していただきたい。</p>	<p>特定の地域でデマンドタクシー化への見直しを検討しています。</p>	<p>来年度の実施に向けて具体的な調整を進めます。</p>
<p>会津若松市の市内巡回バスは観光利用を意識しつつ、生活交通にも使える形で運行しており、一定の利用者を確保している。まちなみバスはどっちつかずになっているところがあるため、機能を明確化する中で会津若松市など類似の事例を参考に検討していただきたい。</p>	<p>まちなみバスのあり方や観光に特化したバスの導入の検討について他市の事例を参考にしつつ、協議会での議論を始めました。</p>	<p>他市事例を参考に議論を進めながら、まちなみバスの見直し、観光に特化したバスの導入について検討を進めます。</p>

- 平成29年4月～ 高根地域において地域主体の公共交通空白地有償運送へ移行。
(実施主体：高根まちづくりの会)

運転手が地元の人であるため、実施主体に対して利用者からの声が届き易くなり、開始後から軽微なダイヤ改正や一部デマンド化などの見直しを柔軟に実施。利用者も前年度同月比較で増加している。

- 各種利用促進策の実施

「のりものフェスタ」の開催

年々出展団体（平成28年度：34団体⇒平成29年度：35団体）及び来場者が増加しており、今年度は過去最高の約2,400人の市民が来場。

公共交通の周知啓発等が図られているほか、協議会の構成団体をはじめ、地域や交通事業者、関係団体等との連携を深めている。



ホームページ画像

- 飲食店の掲載サイト（ヒトサラ）と地元バス事業者のコラボ企画を実施

バスに乗車した際に取得できるクーポン券を持参すると、飲食代の割引や1品サービスなどの特典を受けられる企画を実施。



- 高齢者に対するバスの乗り方教室の実施

長寿会とバス事業者により高齢者に対するバスの乗り方教室を実施。基本的な乗り方や乗車券の利用の仕方などを周知し利用促進を図った。



高齢者に対するバスの乗り方教室の実施

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

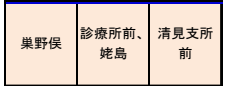
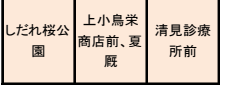
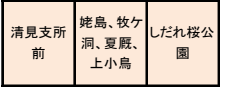
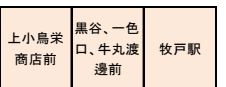
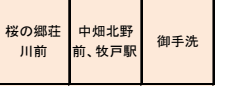


協議会名: 高山市公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)									
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載									
濃飛乗合自動車株式会社	中心市街地(まちなみバス) <table border="1" data-bbox="385 1201 604 1393"> <thead> <tr> <th colspan="3">運行系統</th> </tr> <tr> <th>起点</th> <th>主な経由地</th> <th>終点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高山濃飛バスセンター</td> <td>市役所、八幡宮前、さんまち通り、日赤前</td> <td>高山濃飛バスセンター</td> </tr> </tbody> </table>	運行系統			起点	主な経由地	終点	高山濃飛バスセンター	市役所、八幡宮前、さんまち通り、日赤前	高山濃飛バスセンター	下記のとおり利用促進策を実施し、利用者の増加を図った。 ・子ども向け夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード) ・バスガイドつきバス ・のりものフェスタにバスで来場した方への景品進呈 ・高速バスと1日フリー乗車券のセット販売 ・乗換え検索サイトの使い方リーフレットの配布 ・商店街イベントで参加者(子ども)にフリー乗車券を配布 ほか	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標「前年度よりも利用者数を増加させる」 ・H27.10～H28.9/37,129人 ・H28.10～H29.9/37,487人 対前年比 358人増加(1.0%) ・1便あたりの平均乗車人数 ・H28/5.2人からH29/5.3人に増加 利用促進策の実施により、利用者が増加。目的を達成した。	経路上、古い町並みなどの観光名所を眺めながら移動できる路線であり、今後も引き続き交通事業者、商店街等との連携を図りながら利用者の増加を図る。 また、外国人を含む観光客を対象とした新しい路線・車両の導入を検討し、より市民の移動に合った路線にするため見直しを行っていく。
運行系統														
起点	主な経由地	終点												
高山濃飛バスセンター	市役所、八幡宮前、さんまち通り、日赤前	高山濃飛バスセンター												

濃飛乗合自動車株式会社	高山地域 (のらマイカー東線) <table border="1" data-bbox="371 161 589 240"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>上野、五 名、江名子</td> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	上野、五 名、江名子	高山濃飛 バスセン ター				
高山濃飛 バスセン ター	上野、五 名、江名子	高山濃飛 バスセン ター						
濃飛乗合自動車株式会社	高山地域 (のらマイカー東線) <table border="1" data-bbox="371 325 589 405"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>上野、大 洞、江名子</td> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	上野、大 洞、江名子	高山濃飛 バスセン ター		A: 計画どおり事業は適切に実施された。	C: 目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/18,266人 H28.10～H29.9/15,890人 対前年比 2,376人減少(▲13.0%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/7.5人からH29/6.5人に減少	
高山濃飛 バスセン ター	上野、大 洞、江名子	高山濃飛 バスセン ター						
濃飛乗合自動車株式会社	高山地域 (のらマイカー東線) <table border="1" data-bbox="371 499 589 579"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>上野、五名 (大洞)、江 名子</td> <td>久美愛病 院</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	上野、五名 (大洞)、江 名子	久美愛病 院	高山地域4路線に対し、下記のとおり関係団体と連携しながら利用促進策を実施し、利用者の増加を図った。 ・夏休み前に中学校3年生に対し高校通学便案内を配布	A: 計画どおり事業は適切に実施された。	C: 1便あたりの平均乗車人数 H28/7.5人からH29/6.5人に減少 運転士聞き取りの結果、主な原因として毎日利用する高齢者等の利用が無くなった事により減少となった。	
高山濃飛 バスセン ター	上野、五名 (大洞)、江 名子	久美愛病 院						
濃飛乗合自動車株式会社	高山地域 (のらマイカー東線) <table border="1" data-bbox="371 657 589 737"> <tr> <td>市役所</td> <td>江名子、五 名</td> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> </tr> </table>	市役所	江名子、五 名	高山濃飛 バスセン ター	高山地域4路線に対し、下記のとおり関係団体と連携しながら利用促進策を実施し、利用者の増加を図った。 ・夏休み前に中学校3年生に対し高校通学便案内を配布 ・子ども向け夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード)の実施	A: 計画どおり事業は適切に実施された。	C: 目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/18,266人 H28.10～H29.9/15,890人 対前年比 2,376人減少(▲13.0%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/7.5人からH29/6.5人に減少	旧高山市地内を4台の車両でくまなく運行をしている路線であり、経路の変更要望があっても全体に影響を及ぼすため、見直しに苦慮している。
市役所	江名子、五 名	高山濃飛 バスセン ター						
濃飛乗合自動車株式会社	高山地域 (のらマイカー西線) <table border="1" data-bbox="371 815 589 895"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>緑ヶ丘、新 宮町</td> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	緑ヶ丘、新 宮町	高山濃飛 バスセン ター	高山地域4路線に対し、下記のとおり関係団体と連携しながら利用促進策を実施し、利用者の増加を図った。 ・夏休み前に中学校3年生に対し高校通学便案内を配布 ・子ども向け夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード)の実施	A: 計画どおり事業は適切に実施された。	A: 目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/25,038人 H28.10～H29.9/25,492人 対前年比 454人増加(1.8%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/10.2人からH29/10.4人に増加	バス停の移設や増設は、警察、事業者との現地立会いにより確認を実施し、可能な限り対応を検討。場合によっては地域から適切な場所を提示してもらうなど協力をお願いしながら対応している。
高山濃飛 バスセン ター	緑ヶ丘、新 宮町	高山濃飛 バスセン ター						
濃飛乗合自動車株式会社	高山地域 (のらマイカー西線) <table border="1" data-bbox="371 973 589 1053"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>緑ヶ丘、新 宮町</td> <td>久美愛病 院</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	緑ヶ丘、新 宮町	久美愛病 院	高山地域4路線に対し、下記のとおり関係団体と連携しながら利用促進策を実施し、利用者の増加を図った。 ・夏休み前に中学校3年生に対し高校通学便案内を配布 ・子ども向け夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード)の実施	A: 計画どおり事業は適切に実施された。	A: 1便あたりの平均乗車人数 H28/10.2人からH29/10.4人に増加 利用促進策の結果、増加となった。	引き続き利用促進策に取り組むとともに、運転免許証の自主返納を促進するなど公共交通の利用へシフトしてもらうための取組みを進める。
高山濃飛 バスセン ター	緑ヶ丘、新 宮町	久美愛病 院						
濃飛乗合自動車株式会社	高山地域 (のらマイカー南線) <table border="1" data-bbox="371 1129 589 1209"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>上一之町、 石浦町、日 赤前</td> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	上一之町、 石浦町、日 赤前	高山濃飛 バスセン ター	高山地域4路線に対し、下記のとおり関係団体と連携しながら利用促進策を実施し、利用者の増加を図った。 ・夏休み前に中学校3年生に対し高校通学便案内を配布 ・子ども向け夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード)の実施	A: 計画どおり事業は適切に実施された。	A: 目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/19,585人 H28.10～H29.9/19,642人 対前年比 57人増加(0.3%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/8.0人からH29/8.0人で維持	
高山濃飛 バスセン ター	上一之町、 石浦町、日 赤前	高山濃飛 バスセン ター						
濃飛乗合自動車株式会社	高山地域 (のらマイカー南線) <table border="1" data-bbox="371 1289 589 1369"> <tr> <td>久美愛病 院</td> <td>上一之町、 石浦町、日 赤前</td> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> </tr> </table>	久美愛病 院	上一之町、 石浦町、日 赤前	高山濃飛 バスセン ター	高山地域4路線に対し、下記のとおり関係団体と連携しながら利用促進策を実施し、利用者の増加を図った。 ・夏休み前に中学校3年生に対し高校通学便案内を配布 ・子ども向け夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード)の実施	A: 計画どおり事業は適切に実施された。	A: 1便あたりの平均乗車人数 H28/8.0人からH29/8.0人で維持 利用促進策の結果、増加となった。	
久美愛病 院	上一之町、 石浦町、日 赤前	高山濃飛 バスセン ター						

<p>濃飛乗合自動車株式会社</p>	<p>高山地域 (のらマイカー北線)</p> <table border="1" data-bbox="383 276 600 363"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>日赤前、本 母町、上枝 駅前、大新 町4丁目北</td> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	日赤前、本 母町、上枝 駅前、大新 町4丁目北	高山濃飛 バスセン ター		<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/22,432人 H28.10～H29.9/23,048人 対前年比 616人増加(2.7%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/9.2人からH29/9.4人に増加</p> <p>利用促進策の結果、増加となった。</p>	
高山濃飛 バスセン ター	日赤前、本 母町、上枝 駅前、大新 町4丁目北	高山濃飛 バスセン ター						
<p>濃飛乗合自動車株式会社</p>	<p>高山地域 (のらマイカー岩滝線)</p> <table border="1" data-bbox="383 576 600 663"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>別院前、滝 町、自動車 学校前</td> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	別院前、滝 町、自動車 学校前	高山濃飛 バスセン ター	<p>下記のとおり関係団体と連携しながら利用促進策を実施し、利用者の増加を図った。 ・夏休み前に中学校3年生に対し高校通学便案内を配布 ・子ども向け夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード) ・運転免許証の自主返納者に対して24枚綴りの回数券を交付するほか、交通安全委員会で運転経歴証明書の発行手数料(1,000円)の助成を行なうなどの連携した取組みにより、公共交通での移動にシフトしてもらうよう促す活動を実施 ほか</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/2,617人 H28.10～H29.9/3,328人 対前年比 711人増加(27.2%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/1.6人からH29/2.1人で増加</p> <p>高校生利用の増加により利用者数が増加した。</p>	<p>今後も主として高校生の通学利用が見込まれる。引き続き、市民意見の聴取を行い、利用状況を踏まえて必要な見直しを行うことに加え、利用促進に取り組む。</p>
高山濃飛 バスセン ター	別院前、滝 町、自動車 学校前	高山濃飛 バスセン ター						
<p>濃飛乗合自動車株式会社</p>	<p>高山地域 (のらマイカー岩滝線)</p> <table border="1" data-bbox="383 874 600 962"> <tr> <td>高山濃飛 バスセン ター</td> <td>市役所、滝 町</td> <td>数河</td> </tr> </table>	高山濃飛 バスセン ター	市役所、滝 町	数河				
高山濃飛 バスセン ター	市役所、滝 町	数河						
<p>濃飛乗合自動車株式会社</p>	<p>清見地域 (のらマイカー清見大原線)</p> <table border="1" data-bbox="383 1050 600 1137"> <tr> <td>大原</td> <td>巢野俣</td> <td>清見診療 所前</td> </tr> </table>	大原	巢野俣	清見診療 所前				
大原	巢野俣	清見診療 所前						
<p>濃飛乗合自動車株式会社</p>	<p>清見地域 (のらマイカー清見大原線)</p> <table border="1" data-bbox="383 1201 600 1289"> <tr> <td>清見診療 所前</td> <td>黒地橋</td> <td>巢野俣</td> </tr> </table>	清見診療 所前	黒地橋	巢野俣	<p>・高校通学便案内の配布、夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード)を実施するほか、毎月の利用状況について、まちづくり協議会を通じて報告し、啓発に努めている。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/3,672人 H28.10～H29.9/4,138人 対前年比 466人増加(12.7%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/1.4人からH29/1.5人で増加</p>	
清見診療 所前	黒地橋	巢野俣						
<p>濃飛乗合自動車株式会社</p>	<p>清見地域 (のらマイカー清見大原線)</p> <table border="1" data-bbox="383 1361 600 1449"> <tr> <td>大原</td> <td>巢野俣、保 育園、姥島</td> <td>清見支所 前</td> </tr> </table>	大原	巢野俣、保 育園、姥島	清見支所 前			<p>H29.4以降の保育園児の通園利用が増加した。</p>	<p>谷沿いに集落が点在し、路線延長も約40キロと長いため車両のやりくりが難しく、地域で話し合い、路線、時間帯を設定している。通院利用のほか、保育園の通園や部活動に行くための利用などのため、引き続き地域に合った運行を行っていく。</p>
大原	巢野俣、保 育園、姥島	清見支所 前						

濃飛乗合自動車株式会社	清見地域 (のらマイカー清見大原線) 				
濃飛乗合自動車株式会社	清見地域 (のらマイカー清見江黒線) 	・高校通学便案内の配布、夏休み企画(小中学生対象バス乗車ポイントカード)を実施するほか、毎月の利用状況について、まちづくり協議会を通じて報告し、啓発に努めている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/6,857人 H28.10～H29.9/5,910人 対前年比 947人減少(▲13.8%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/4.0人からH29/3.5人に減少	谷沿いに集落が点在し、路線延長も約30キロと長いため車両のやりくりが難しく、地域で話し合い、路線、時間帯を設定している。通院利用のほか、保育園の通園や部活動に行くための利用などのため、引き続き地域に合った運行を行っている。
濃飛乗合自動車株式会社	清見地域 (のらマイカー清見江黒線) 				
濃飛乗合自動車株式会社	荘川地域 (のらマイカー荘川線) 				
濃飛乗合自動車株式会社	荘川地域 (のらマイカー荘川線) 	毎月地域へ利用状況の説明を行い、啓発を行っている。また、貨客混載の実施についても検討し、宅配事業者に打診したが、配送ルートが確立されているため断られ、実施に至らなかった。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/5,096人 H28.10～H29.9/3,868人 対前年比 1,228人減少(▲24.1%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/2.6人からH29/2.0人に減少	タクシー車両や地域による少量輸送ができないか検討しているが、地理的条件により移行が難しい地域である。引き続き、地域の声を聞きながら利用実態に合わせた効率的な運行を行うとともに利用の啓発を行っていく。
濃飛乗合自動車株式会社	荘川地域 (のらマイカー荘川線) 				
濃飛乗合自動車株式会社	荘川地域 (のらマイカー荘川線) 			減少理由を地域や運転手から聞き取った結果、ほぼ毎日利用する高齢者が転出するなどしたため減少となった。目標設定については、引き続き路線確保していく必要があるため、利用促進・地域への働きかけにより維持を図っていく。	

<p>濃飛乗合自動車株式会社</p>	<p>上宝地域 (のらマイカー上宝福地温泉線)</p> <table border="1" data-bbox="387 405 604 491"> <tr> <td data-bbox="387 405 456 491">吉野公民館前</td> <td data-bbox="456 405 526 491">上宝支所、見座、栃尾診療所前、福地温泉上</td> <td data-bbox="526 405 604 491">ガーデンホテル焼岳</td> </tr> </table>	吉野公民館前	上宝支所、見座、栃尾診療所前、福地温泉上	ガーデンホテル焼岳	<p>温泉施設への利用者が多く、支所地域周辺から乗車できるよう見直しを行ったところ、増加傾向にある。施設の休館情報を車内に掲示するなど利用者に対する利便性を図っている。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>A 目標「前年度並みの利用者数の確保を図る」 H27.10～H28.9/1,531人 H28.10～H29.9/1,639人 対前年比 108人増加(7.1%) 1便あたりの平均乗車人数 H28/2.1人からH29/2.2人に増加 温泉施設利用者に対する休館情報など車内に掲示し、利便性を図ったことで利用者が増加した。</p>	<p>利用者の声を聞きながら、引き続き利用目的先である温泉施設等からの情報提供を行い、利用促進に取り組む。</p>
吉野公民館前	上宝支所、見座、栃尾診療所前、福地温泉上	ガーデンホテル焼岳						

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	高山市公共交通活性化協議会
-------	---------------

評価対象事業名:	確保維持事業(地域内フィーダー系統)
----------	--------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<ul style="list-style-type: none">・市民がどこに住んでいても、また、移動困難な状態になっても移動可能な社会環境が整っている。・高山市を訪れる人にとって訪れやすく、移動しやすい公共交通サービスが整っている。
-----------------------------	--